

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ)



「ヒライ信」孫と作った クイズ問題 答えにまごつく

落語歳時記シリーズ

雨の落語 「天災」

隠居の家に気短な八五郎がいきなり飛び込んでくる。

あきれた隠居が「長谷川町新道の紅羅坊名丸（べにらぼうなまる）という偉い心学の先生がいるから話を聞いて精神修行をし、心を和らげてこい」と紹介状を書いて送り出す。

紅羅坊名丸（べにらぼうなまる）先生は、ご隠居のお手紙を拝見し、

「おっかさんに手を挙げるそうですが、喧嘩がお好きなようですが、柳に風のごとく、堪忍が大事。例えば、小僧が水を掛けたら・・・屋根から瓦が落ちてきたら・・・

大きな原中でタ立、ずぶ濡れになったら、どこに喧嘩をウリますか」「あきらめらあ～」

「だったら、全て天災だと思ってあきらめなさい。天のせいになれば、喧嘩をしないですむ」

「腹も立たない、天災だ天災だ」と、すっかり人間が丸くなって帰る。

なにやら隣の家で言い争っているの、ここぞと止めに入った

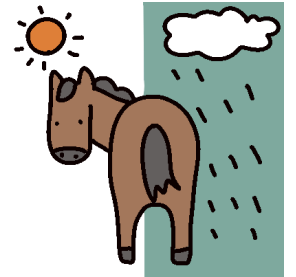
八五郎「まあ落ち着け。ぶっちゃあいけねえ。

奈良の堪忍、駿河堪忍。気に入らぬ風も蛙かな。ずた袋よ。

破れたら縫うだろう?」「だからなんでえ」「原ン中でタ立にあって、

びっしょり濡れたらどうする? 天災だろう」

「なに、天災じゃねえ。先妻だ」



■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」「若い女性と中年女性の演技分け」

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も 謎かけ で、お題は「歯」「あやめ（菖蒲）」とかけて

次回は2023年6月5日（月）「七夕」「血压」